

2023 年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

2024年4月15日

*数値は2024年3月20日時点

1. 報告

生活協同組合コープみらいの2023年度「ちばSSKプロジェクト等に関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2023年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

(1) 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市区町村や警察等へ通報します。

▶2023年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し、通報した件数は74件（宅配54件、店舗17件、福祉3件）でした。

【通報事例】

- ・配達先組合員宅（75歳独居）で前週に届けた商品が手付かずで残っていた。玄関先で異臭を感じたため警察に連絡した。その後、警察から家の中で人が亡くなっているのを確認したとの連絡があった。
- ・配達先組合員宅で、組合員（独居女性89歳）が室内で倒れていたのを発見した。救急車を手配し、組合員は入院されたが、後日ご家族から感謝の言葉をいただいた。

▶コープみらいの移動店舗ふれあい便では、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買い物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設等の停留所を週1回巡回し、高齢者の買い物を支援しました。

(2) 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。

▶新地域支援事業に関する会議

- ・四街道市たすけあい連絡会
- ・市川市地域ケア推進会議

▶高齢者見守り等に関する会議

- ・千葉市孤独死防止通報制度連絡会議（Zoom参加）
- ・松戸市高齢者等の見守り活動に関する協定締結事業者の定例会（活動実績報告）
- ・習志野市高齢者見守り事業者ネットワーク会議（活動実績報告）

- ・一宮町地域支援ネットワーク会議（会場参加）
- ・鎌ヶ谷市高齢者見守り支援会議（会場参加）

II 「ちばSSKプロジェクト」

- (1) 「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、情報紙「ちばインフォメーション」（県内35万部発行）等の広報媒体の中で、「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。
- ▶ 「ちばインフォメーション」8月21日号に、「ちばSSKプロジェクト」の紹介とともにコープデリ宅配にて実際に発生した見守り活動の事例紹介をしました。（添付資料①）。

III 認知症対策

- (1) 職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。
- コープみらいでは、2009年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所で講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています。オンライン講座を実施し、新たに19人のサポーターを養成しました。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- (1) 組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。
- ▶ 年間でのべ669会場で開催し、3,832人が参加しました。地域の居場所としてつながりづくりを大切にし、参加者の想いや暮しに寄り添いながら、新しい参加者を迎え入れたり、新しい会場でも開設しました。アフターコロナで商品の試食や調理を楽しむ会場も増え、交流が広がりました。

【みらいひろばでの事例】

コープデリ成東センターで開催しているみらいひろば成東では、九十九里病院の作業療法士をお招きして、いすに座ったままできる体操や、頭を使いながら体を動かすゲームなどを体験しました。参加者されたメンバーからは「難しい!」「この動きキツイ!」などの声が飛び交い和気あいあいと楽しく体を動かすことができました。

- (2) 組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。
- ▶ 「地域クラブ」の登録数は全体で860件（全世代含む）となり、高齢者も含め食・健康・福祉などをテーマに生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ「ふれあいOG会」は、高齢者の方と一緒に調理や会食をし、楽しみなが

ら活動をしています。8月に、新しく独居の方の参加があり毎月の地域クラブへの参加が待ち遠しいと連絡を何度もいただくほど楽しみされています。参加者皆さんは、昔からの知り合いのように溶け込んでおしゃべりなど楽しんでいます。12月にはひとりでお食事をすることができないと言った声を多く寄せられたのでみんなで外食を楽しむ企画を開催しました。参加された皆さん外食とおしゃべりをとても楽しんでいました。食後のおしゃべりに花が咲き時間が過ぎるのがとても早く感じるほど楽しい一日を過ごしています。

- (3) 出前授業（食育・環境・防災減災）を、シニアクラブなど高齢者向けに実施します。
- ▶地域からの依頼に応じて食育プログラムを20会場426人、防災・減災プログラムを9会場167人、エコプログラムを4会場48人に実施しました（千葉県の食育サポート企業に登録しいきいきシニア食育プログラムを提供）。
- (4) 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加、地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。
- ▶第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。
 - ▶支援を必要としている生活困窮者のため食品等支援を行っている白井市・八街市・佐倉市・君津市・成田市・市川市・千葉市・市原市・習志野市の社会福祉協議会へ合計22,719.1kgの千葉県産米や食品等を寄贈しました。

V 高齢者の安全、安心

- (1) 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報紙「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。
- ▶「ちばインフォメーション」に、「消費者被害防止」「交通安全運動」等に関する啓発記事やイベント等の情報を計11回掲載しました（添付資料②）
 - ▶「みらいひろば」の参加者向けに配布する通信にて「最近起こっている消費者トラブルの事例」について掲載し、家族への注意喚起を呼びかけました（添付資料③）。
 - ▶ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

以上